

7/5(水) 健康づくりセミナー アンケート結果

No	性別	年代	熱中症対策アンバサダー講座(33名参加)	認知症サポーター養成講座(30名参加)
1	女	30	簡潔で分かりやすかった。	-
2	女	50	暑い現場で働く従業員が多いので、とても参考になった。アイススラリーの効果もとても分かり活用できると思いました。従業員への周知活動をしていくために、とても勉強になりました。ありがとうございました。	-
3	女	30	熱中症は暑くなったらと思っていましたが、暑くなる前から暑熱順化が有効知ることができた良かったです。	-
4	男	30	外作業をすることがあるため、今回紹介してもらった指針を参考に業務を行いたいと思いました。具体的な指針や例があり分かりやすかったです。	-
5	男	50	熱中症に対して知識が深まりました。特にアイススラリーについては、深部体温を下げる働きがあることを知りました。熱中症の予防に役立つものと感じました。講師の説明も分かりやすく理解しやすかったです。機会を提供いただきました芳工連部会の皆様ありがとうございました。企業内の熱中症対策に役立てます。	会社にも熱中症の方がいるため参考になりました。よく当てはまる内容も多く、対応についても答え合わせができました。芳賀町の取組みについても知る機会となり良かったです。ありがとうございました。
6	男	60	毎年気温が上昇していくので、大変心配しております。建設業ですが、未だ高温で作業を中止したことはありませんが、今後は考えるようになると思う。暑熱順化対策等、積極的に実施する必要があります。	分かりやすかったです。認知症の概念が少し変わりました。
7	男	60	暑熱順化が予防に有効であることを初めて知りました。会社にもどり、従業員に周知したいと思えます。	まずは、認知症を正しく理解することが重要と理解しました。
8	男	60	6月の社内の安全衛生委員会で議題に取り上げましたが、対策として水分をとるとかしかやっていたので、イオン水を飲む、手のひらを冷やすなどの具体的な対策等を補足として7月の安全衛生委員会で発表します。	大変参考になりました。
9	男	40	役立つ情報だったので、1か月くらい早く聞ければ更に良かった。アイススラリーをいただいたが、もし可能であれば、凍った状態でその場で飲めたら更に内容が身に入ったと思う。	会社でも認知症の者が出てくる可能性があるので、役立つ内容だった。
10	男	50	近年の熱中症の置かれている状況が良く分かりました。危機感の伝わる説明で熱中症の怖さも伝わりました。具体的な対策をもっと盛り込んで説明いただくと仕事場、生活に活かすことができると思うので、今後よろしく願います。	認知症理解のほんの一部ではあると思いますが、理解できました。本質は、人と人との関わり方についての考えを持つことだと理解しました。
11	男	50	熱中症になりやすい人という観点が目新しかった。深部体温を下げるのが、予防になることが理解できた。日常でできること、業務前にできることをまとめてPRが必要。自分が熱中症になりやすい体質なのか、業務に就いているか、チェック表があると良いかも。	自分の行動で認知症になったときのタイプが分かりやすく説明され、本人の意思とつながっていると感じた。認知症の人だけでなく、普段接している人への関わり方としても役だった。
12	男	50	分かりやすく勉強になりました。	ていねいな話し方で分かりやすかった。
13	男	60	地球の温暖化が進み、熱中症リスクが高まり対処の重要性を再認識しました。職場における熱中症予防についても推進していきます。また、個人的にはゴルフが趣味なので、プレー前にアイススラリーを試してみます。	母が重度の認知症で、毎週末 実家で介護をしております。どんなに大変か認識しております(壮絶です)。高齢化社会を迎え、社会全体でサポートしていくことが大切だと思います。また、介護する側の肉体的、精神的また金銭的負担も大変です。こちらの支援も必要だと思います。次回は、地域包括支援センターでの取扱い内容(介護認定等)も説明していただけると幸いです。

7/5(水) 健康づくりセミナー アンケート結果

No	性別	年代	熱中症対策アンバサダー講座(33名参加)	認知症サポーター養成講座(30名参加)
14	男	50	熱疲労により頭痛・めまい・吐き気を感じた時はもう熱射病になってしまうリスクが高まることを知りました。熱失神または熱けいれんの症状のうちに無理をせず、冷やしたり、水分を補給したりと事前対策をしておくことが重要なのだと理解しました。水分を補給する理由や脱水症状を見分ける方法など、分かりやすい図やイラストで説明してくれるので理解しやすい。汗の成分や、水だけの補給は良くないこともイラストを見ただけで理解しやすかった。体の内側から冷却しておくアイススラリーを初めて知った。今までは栄養、エネルギーを接種するゼリー状のものを作業中や運動中に食することが主流だったが、日々研究開発されていることを知った。	なんとなくしか考えたことがなかった認知症について、改めて考える機会をつくれた。いつか自分もそうになってしまうのかなと心配になってしまった。デジタル化、AI化が進んでも、きっとこの人間らしいお付き合いができる環境や習慣づけが重要なんですね。
15	男	50	職場での熱中症対策に役立った。運動時の水分補給等予防に参考になった。	多様性の一部として人権・人格を尊重しながら支援することが重要と感じた。身近な問題であると再認識できた。
16	女	20	熱中症の種類など自分の知らないことが多くあり、大変ためになりました。	認知症の家族がいるため、分かる分かんと思いがながら聞いていました。お話を今一度思い出しながら、対応を改めたいと思いました。
17	女	50	-	短い時間の講習会でしたが、DVDを見たり、教材(冊子)もいただきましたので、もっと理解を深めたいと思います。
18	女	40	熱中症の対策を具体的に知ることができて良かったです。熱中症になってしまった場合の対応も知れて良かったです。	認知症の人に対する対応が分からなかったのが、知ることができて良かったです。もう少し詳しく知りたいとも思いました。
19	女	50	-	地域包括支援センターの位置付けが理解できた。なじみのない場所なので、具体的に教えてもらえて良かった。認知症とは?から教えていただき、認知症について知ることができ、とても有意義な研修でした。
20	男	50	熱中症をある程度理解できました。今後、会社で展開します。特に、暑熱順化・高齢者へのサポート・深部体温管理(アイススラリー等)について、大変有意義な講習でした。	認知症の症状を理解できました。自分の親に対しての対応に間違いがありましたので、今後の行動に活かしてまいります。
21	男	60	認識が深まりました。	再認識することができ、良かったです。若年層の認知症も増えているので、社内でも話をしたいと思いました。
22	男	60	分かりやすい講義、ありがとうございました。できればパワーポイントの資料いただけないでしょうか?自社で講義をやりたいです。	認知症の度合いによって、どのような症状が出るのか、具体的に表して欲しかった。